



なごやグッドグリーン賞の表彰にあたって

今回の表彰の趣旨は、「名古屋市の緑化地域制度やみどりの補助金を活用して完成した緑を顕彰し、今後の制度の普及啓発を図っていきたい」というものです。身近な民有地の緑化の推進を目的としていますから、非常に大規模な緑化や、莫大な資金を投入して完成させたハイレベルな緑化などは審査対象となっていません。どうか、「自分でやるならばこれを参考にしようか」、「こんな緑化ならやってみたいな」といった視点で、これら入賞作品を見ていただければと思います。

審査委員長

大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授

山田 宏之

名古屋市

大賞

K様邸

受賞のポイント

花をうまく取り入れ、緑化しています。
「自分もやってみたい」とお手本になる作品です。

審査員より

- 足元の草花にまで手をかけ、年月と愛情をかけ、ていねいかつ持続的に生活環境をはぐくんでいる印象は、人生と緑の共生の好例です。
- 玄関の緑のアーチがあたかく出迎えてくれているようでステキ。訪問したくなるお宅です。
- 本表彰の趣旨に良く合致した事例だと思いました。これならば自分でも出来る、やってみたい、と思わせてくれる良い緑化事例です。

表紙写真：K様邸



集合住宅部門 部門賞

スカイガーデン平和

事業所部門

リntax株式会社本社



受賞のポイント

多くの種類の木が植えられ、
緑の中で生活をしてほしいと
いうオーナーの気持ちが伝
わってきます。

審査員より

- もっともっと緑を豊かにして、「緑とともに暮らす」を実現してください。



受賞のポイント

ケヤキのほか、道路ぞいに多くの
樹木を植えています。駐車場
緑化や壁面緑化を含め見ごたえ
のある緑化です。

審査員より

- 緑化を徹底し、周辺環境への配慮と緑化啓蒙をかねた設計・実践を高く評価しました。

入選 個人住宅部門 T様邸・N様邸



受賞のポイント
里山の四季を取り込んだ雑木林の復元

審査員より

- ・「二軒共有」と変わったお庭です。雑然と見えますが、よく考えられた設計です。

N様邸・N様邸



受賞のポイント
既存の樹木を生かした緑化

審査員より

- ・既存樹木の圧倒的な存在感により、緑豊かな印象をうけます。既存樹木の活用を評価しました。

入選 集合住宅部門 ラグナヒルズ



受賞のポイント
高木による緑のボリューム感

審査員より

- ・ケヤキとサクラで、季節を印象づけています。経年とともに「スポット」となる可能性を評価しました。

けやきまち

櫛街プロジェクト



受賞のポイント
4軒共有のお庭

審査員より

- ・道路側に対して、積極的に緑を見せるという姿勢がみえます。
- ・ネーミングも素敵。その名を表すような緑の空間にしてください。

入選 事業所部門 認定丘の上こども園



受賞のポイント
擁壁の緑化をはじめとする様々な緑化

審査員より

- ・外壁の緑化などにも気を配り、緑を重視してくれていることが分かる事例です。

ORE錦二丁目ビル



受賞のポイント
高木が造る緑の景観と良好な手入れ

審査員より

- ・設計および管理状態が良く、美しい緑地を形成しています。このような緑地の存在は、建物の価値を格段に高めてくれると思います。

特別賞 事業所部門 名古屋港複合施設



受賞のポイント
店舗前の緑の広場が画期的です。

審査員より

- ・樹木の日陰を積極的に使い、利用者の憩いの場を創出するなど、今後の展開を期待します。

審査員からひと言 (50音順、敬称略)

新海洋子

環境省中部環境[®]・トナリツツ[®]オフィス
チーフデザイナー

小さな緑をつないで、緑あふれるまち・
なごやにしたい。お庭や駐車場、幼稚園
の園庭や校庭、ビルの壁面、屋上…。
名古屋に暮らす、働く人々の思いが
こもった緑あふれる小さな空間づくり、
とても素敵です。



藤井尚子

名古屋市立大学大学院准教授

デザインは、生活を豊かにし社会をより
良くすることを命題としています。花や
緑を育て、慈しみ、共生する生き方は、
人生をより豊かにするライフデザインと
いっても過言ではありません。緑による
ライフデザイナーのご活躍を、今後も期
待しております。



二宮孝嗣

造園芸家

かつては白い街といわれた名古屋の
街、そんな名古屋も今は見違えるよう
な緑の街になってきました。でもまだ
まだ花が足りないと思います。花と緑
はその街と、住んでいる人達の豊かさ
のバロメーターです。名古屋の街に
もっと花と緑を増やして心豊かな名古
屋の街にしていきたいと思います。



山田宏之

大阪府立大学大学院教授

名古屋市には久屋大通公園をはじめと
した、全国的にも珍しい特徴のある公
園緑地がたくさんあります。民有地の
緑化に関しても、全国区を目指してい
きましょう。



なごやグッドグリーン賞とは？

【緑化地域制度※による民有地緑化】

本市では平成20年10月31日より全国で初めて“緑化地域制度”を施行し、民有地緑化にご協力をいただいております。あわせて、平成21年度からは県税“あいち森とみどりづくり税”を財源とする“みどりの補助金”を開始し、質の高い緑化の取り組みへの助成を行っています。

【賞の目的】

制度施行から6年が経過し、これまでの優良事例に対し謝意を表すとともに、今後の街づくりにむけて皆様の参考にしていただくことを目的としています。

【審査対象について】

緑は施工後の維持管理が重要であることから、施工後概ね3年以上経過した（平成24年度末竣工までの）5,500件を審査対象としました。そのうち、大規模な事業所や開発事業の約150件は、全国的な顕彰制度を活用することとし、皆様に参考としていただけるような身近な緑化事例を対象としました。さらに審査は“みどりの補助金”を活用して質の高い緑化に取り組んだ約200件について行いました。

※緑化地域制度とは

緑が不足している市街地などにおいて、一定規模以上の建築物の新築や増築を行う場合に、敷地面積の一定割合以上の緑化を義務づける制度です。これにより効果的に緑を創出することができます。（都市緑地法第34条）

発行日 2015年10月

発行 名古屋市 緑政土木局 緑地部 緑地維持課 電話 052-972-2465 FAX 052-972-4142